様式1

**観光コンテンツ事業者の収益性改善モデル構築事業**

**応募申請書**

令和　　年　　月　　日

観光庁　観光地域振興部　観光資源課　宛

 （申請団体名※１）

 （申請団体代表者氏名）

　（事業名※２）

※１：単独の主体による申請の場合は、当該申請をする事業者の名前を記載してください。

※２：事業名は、応募申請する内容に即したものを25文字以内で記載してください。

本事業について、次の資料を添えて、応募申請します。

* 様式２：申請団体概要書
* 様式３：事業の計画
* 様式４：必要経費の内訳

（代表主体名）

（代表主体における本事業の担当者氏名）

（部　　署）

（役　　職）

（電話番号）

（電子メール）

**注：以下も記載してください。**

様式2

**観光コンテンツ事業者の収益性改善モデル構築事業**

**＜申請団体概要書＞**

|  |  |
| --- | --- |
| **項目** | **記入欄** |
| **（ふりがな）****申請団体名※３** |  |
| **申請団体****設立年月日** | 設立予定の場合は、その予定日を記載してください。 |
| **代表主体※３** | **主体名（ふりがな）** | **DMO※４** |
|  | アイテムを選択してください。 |
| **所在地（ふりがな）** |
|  |
| **代表者（所属・役職・氏名）** |
|  |
| **代表主体****以外の****事業者****（適宜行の追加可能）** | **事業における****役割** | **事業者名** | **代表者****（所属・役職・氏名）** | **担当者****（所属・役職・氏名）** | **DMO※４** |
|  |  |  |  | アイテムを選択してください。 |
|  |  |  |  | アイテムを選択してください。 |
|  |  |  |  | アイテムを選択してください。 |
|  |  |  |  | アイテムを選択してください。 |
| **申請団体の****規約等※３** | 　　有　　　・　　　作成中　　　（どちらかに○を付けてください。）注：　応募申請書に添付してください（作成中の場合を含む。）。 |
| 【目的】【事業内容】【活動エリア】【事務処理及び会計処理の方法】 |
| **経理担当****予定者** | 経理担当予定者（主担当、副担当）は代表主体とし、所属・役職・氏名、支援金業務や受託業務の経理の実績や年数等について記載してください。 |

※３：単独の主体による申請の場合は、当該申請をする事業者に関する事項を記載してください。

※４：観光地域づくり法人（DMO）の場合、「DMO」欄でいずれかを選択してください。

**注：　枚数制限はありませんが、簡潔かつ具体的に記載してください。**

様式3

**観光コンテンツ事業者の収益性改善モデル構築事業**

**応募申請書**

**＜事業計画書＞**

|  |  |
| --- | --- |
| **項目** | **記入欄** |
| **事業名** | 事業名を記載してください。 |
| **事業概要・要旨** | 申請の概要・要旨について簡潔に記載してください。 |
| **地域の現状と課題****（本事業を申請する背景など）** | 【地域（事業の実施地域を指す。以下同じ。）名】地域を市区町村単位（例：○○県●●市）で記載してください。複数の市区町村を跨ぐ場合は、全て記載してください。 |
| 【概要】本事業の対象エリアとする地域について、インバウンドを中心とする観光の現状や当該地域における観光振興の施策として取り組んでいる内容などについて総合的に記載してください。多角的な視点から可能な限り定量的データを使い、明確に記載してください。その際は、以下の視点に留意して記載してください。1. 内部要因（Strength：強み）

例：地域内の民間事業者は○○という実績があり、△△という観点からマーケットにおける競争優位性がある。また、地方自治体や地域金融機関、□□が観光まちづくりに参画し、盤石な連携体制を敷いている。1. 内部要因（Weakness：弱み）

例：○○実施に必要な財源や人材、高付加価値なコンテンツ造成におけるノウハウが不足している。1. 外部要因（Opportunity：機会）

例：■■によると、□□による△△志向の高まりから（社会情勢等の外部環境の変化）、当該地域の□□という資源は、希少性が高くマーケットにおいて競争優位性が高い（好影響）。1. 外部要因（Threat：脅威）

例：○○という観光コンテンツは、天候に左右されると（社会情勢等の外部環境の変化）、安定した観光客数を確保できていない（悪影響）。当該地域は、隣接した地域に温泉地等が存在しており（市場・競合の状況）、通過型観光地となっており、域内消費額に低い状況がある（悪影響）。 |
| 【地域における旅行者数（国内・訪日）】国内観光客・訪日外国人観光客の別で記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | データの時点 | データ | データ出典 |
| 国内 | ○○年 | ○○人 | □□統計（○○年） |
| 訪日外国人 | ○○年 | ○○人 | □□統計（○○年） |

 |
| 【地域における宿泊者数（国内・訪日）】国内観光客・訪日外国人観光客の別で記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | データの時点 | データ | データ出典 |
| 国内 | ○○年 | ○○人 | □□統計（○○年） |
| 訪日外国人 | ○○年 | ○○人 | □□統計（○○年） |

 |
| 【地域における旅行消費額（国内・訪日）】国内観光客・訪日外国人観光客の別で記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | データの時点 | データ | データ出典 |
| 国内 | ○○年 | ○○円 | □□統計（○○年） |
| 訪日外国人 | ○○年 | ○○円 | □□統計（○○年） |

 |
| **実施体制/収益性改善の対象となる観光コンテンツ事業者の特定** | **【実施体制の組織・人員体制、役割分担】**代表主体及びそれ以外の事業者で構成された実施体制において、各事業者の活動内容や連携方法について記載してください。適宜、ツリー構造等の図で記載しても差し支えありません。 |
| **【収益性改善の対象となる観光コンテンツ事業者】**本事業において収益性改善を行う観光コンテンツ事業者（以下「対象事業者」という）を特定してください。 |
| **現在販売中の体験商品等に関する分析** | 【**対象事業者において現在販売中もしくは販売の準備を進めている体験商品の内容**】対象事業者において現在販売中もしくは販売を検討している体験商品（以下「対象体験商品」という）の具体的な内容、販売開始時期、2024年における売上高等を記載してください。 |
| 【**対象体験商品の現在の状況に対する分析**】対象体験商品において、個々の体験商品のミクロの視点と、当該事業者の事業全体のマクロの視点の双方から、現状に対して分析を講じ、現在の強みや課題となっていること等について、以下の分析項目例を参考に、具体的に記載してください。＜個別の体験商品に着目したミクロの視点での分析項目例＞売上の詳細分析（販売経路別、ターゲット層別など）、成約状況の整理（予約が入りやすいタイミングなど）、他社の類似商品と比べた場合の商品の質の分析、当該商品の実施に必要なオペレーション工数や人工・経費の整理、リスク要素の整理など＜当該事業者が行う事業全体のマクロの視点での分析項目例＞当該事業者の「稼ぎ頭」となる商品など各商品の役割の整理、事業者全体での共通コストや損益分岐点の把握、マーケティングコストなど中長期目線で計上しておくべき費用の整理など |
| **収益性改善のために****必要と考える取組・****本事業で****実証したい内容** | 上記の分析結果を踏まえ、収益性改善のために必要と考える取組や、本事業で実証した内容について、項目立てて具体的に記載してください。この際、『販売単価の向上』『購入者数の拡大』『コスト（経費）の合理化』の３つの視点を意識した上で、本事業中に戦略的に実証したい内容について具体的に記載してください。※２か年での収益性改善を目指す場合については、令和７年度に実施する内容と次年度に実施する内容を区別して記載すること。 |
| **事業目標** | 上記の「収益性改善のために必要と考える取組・本事業で実証したい内容」を通して実現する事業目標を具体的かつ定量的に記載してください。 |
| **効果検証** | 本事業で実施する取組の効果検証の方法や、PDCAサイクルをより効果的に回していくための工夫などについて具体的に記載してください。 |
| **事業スケジュール** | 本事業の事業期間中に想定しているスケジュールについて記載してください。※２か年での収益性改善を目指す場合については、２か年分のスケジュールを記載すること |
| **その他特記事項****（適宜行の追加可能）** | 【専門家による伴走支援の必要性及び分野について】公募要領「Ⅱ．募集内容等」の「６.１伴走支援について」に記載のある伴走支援の分野の例を参考に、事業ゴールを鑑み、課題となる点について伴走支援の必要性及び分野について、記入してください。 |
| 【】上述していないが特筆すべき事項があれば、【】内にタイトルを記入の上、内容を記載してください。（３つまで） |

**注：　枚数制限はありませんが、できるだけ明瞭かつ具体的に、写真や図等も引用しつつ記載してください。写真や図については、公表可能なものを使用してください。**

**また、提出するPDFファイル内に参考資料を追加することも可能です。**

様式4

**観光コンテンツ事業者の収益性改善モデル構築事業**

**応募申請書　＜経費内訳書＞**

|  |  |
| --- | --- |
| 申請団体名 |  |
| 事業名 |  |
| 必要経費の内訳 |
| 項目 | 単位 | 数量 | 単価 | 項目合計（税込）（円） | 備考（使途・内訳等） |
| Ⅰ．事業等の費用 | ⅰ. 人件費・賃金 |  |  |  |  | * 本事業を行うために必要な人件費（例：報告書等の作成、評価・検証、モデルケース構築等に従事する者の人件費）
* 事業等に係る事務を補助するために任用する臨時職員の賃金
 |
| ⅱ. 旅費 |  |  |  |  | * 事業等を行うために必要な出張に係る経費。
 |
| ⅲ. 謝金 |  |  |  |  | * 事業等を行うために必要な謝金（例：会議等に出席した外部専門家等に対する謝金）
* 貴団体の謝金規定等に基づき計上してください（ただし、国の支出基準は超えないこと。）。
* それぞれが何を担当するのかを備考欄に記載してください。
 |
| ⅳ. 広告宣伝費 |  |  |  |  | * 事業内で行う、当該事業の魅力発信に向けた企画・開発・広報等に必要な費用（例：ウェブサイト・パンフレット等の制作費、SNS運営費、メディア等へのリリースに要する費用）。
 |
| ⅴ. 借料及び損料 |  |  |  |  | * 事業等を行うために必要な機械器具、会場、物品等のリース・レンタルに要する経費。
 |
| ⅵ. 消耗品費 |  |  |  |  | * 事業等を行うために必要な消耗品（例：紙、封筒、ファイル、文具用品類）の購入に要する経費。ただし、本事業等のみで使用されることが確認できるものに限る。
 |
| ⅶ. その他諸経費 |  |  |  |  | * 事業等を行うために必要な経費のうち、当該事業等のために使用されることが特定・確認できるものであって、ⅰ.～ⅵ.のいずれの区分にも属さないもの。
 |
| Ⅱ. 再委託費 |  |  |  |  | * 観光庁が別途指定する事務局との取決めにおいて、事業実施者が事業等の一部を当該事業者以外に行わせるために必要な経費。

注：再委託費の内訳を、金額・使途・再委託先等の別に明示して、この欄に記載してください。 |
| Ⅲ. 一般管理費 |  |  |  |  | * 事業等を行うために必要な経費であって、本事業等に要した経費としての抽出・特定が困難なものについて、Ⅰ．及びⅡ．の合計額の１割未満まで支払を認められた経費。
 |
| 合　　計 |  |  |  |  |  |

注：本資料は、選定に際しての目安とするためのものであり、本事業の金額を決定するものではありません。また、成果目標に対する達成状況及び報告書の内容によっては、一部又は全部の経費を支払わない場合があります。なお、事業の選定後に虚偽等が発覚した場合も同様です。